



作成日：2022 年 12 月 21 日
更新日：2026 年 2 月 19 日

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称 : シェルパ-PRJ-2010
会社名 : 小津産業株式会社
住所 : 〒103-8435 東京都中央区日本橋本町 3 丁目 6 番 2 号
電話番号 : 03-3661-9545
FAX 番号 : 03-5695-1395
SDS 整理番号 : OZSDS-00046
想定される用途及び当該用途に : 工業用ウエットシート
おける使用上の注意 : 上記以外の目的で本製品を使用する場合は、使用する前に弊社営業
担当に必ずご連絡ください。

※本製品は不織布にアルコール混合物を含浸させたものである。

※本 SDS はアルコール混合物としての GHS 分類を行い、危険有害性を記載した。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的・化学的危険性

引火性液体 : 区分 2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分 2

特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分 3(麻酔作用)

GHS ラベル要素



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: 引火性の高い液体及び蒸気
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ

注意書き

安全対策

: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。
容器を密閉しておくこと。



作成日：2022 年 12 月 21 日
更新日：2026 年 2 月 19 日

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合 : 指定された消火剤を使用すること。

暴露又は暴露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当を受けること。

貯蔵

: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。施錠して保管すること。

廃棄

: 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性 : 非常に燃えやすい液体である。

蒸気が滞留すると爆発のおそれがある。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名 : 工業用ウエットシート

成分	CASNo.	含有量(%)	化審法番号
【原反】 ポリエステル樹脂	68604-67-1	---	---
【含侵液】 エタノール	64-17-5	59.85	2-202
1-プロパノール	71-23-8	6.72	2-207
2-プロパノール	67-63-0	3.43	2-207
水	7732-18-5	30	---

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。皮膚に付着した場合、多量の水や適切な薬剤で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察、手当を受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診察、手当を受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置



作成日：2022 年 12 月 21 日

更新日：2026 年 2 月 19 日

適切な消火剤	: 霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
使ってはならない消火剤	: 噴流水を消火に用いてはならない。
特有の危険有害性	: 燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。 加熱すると容器が爆発するおそれがある。
消火を行う者の為の予防処置	: 先ず、人を風上の安全な場所に避難させる。消火作業は、可能な限り風上から行う。自給式呼吸器、防護服等の適切な保護具を着けて作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 関係者以外は近づけない。適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 漏れ出した物質は下水、排水溝、低地への流出を防止する。下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化方法・機材	: 不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。 多量に流出した場合、盛土で囲ったのち処理する。 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。 清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。
二次災害の防止策	: 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。 全ての発火源を取り除く。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。
安全取扱い注意事項	: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触回避	: 強酸化性物質との接触を避けること。
衛生対策	: 眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	: 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	: 現在のところデータなし。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 作業環境評価基準(2004)<=200ppm (2-プロパノール)
許容濃度	
日本産業衛生学会(1987)	: 最大許容濃度 400ppm;980mg/m ³ (2-プロパノール)
ACGIH(STEL)(2009)	: 上記道刺激 1000ppm (エタノール)
ACGIH(TWA)(2007)	: 眼及び上記道刺激 100ppm (1-プロパノール)
ACGIH(TWA)(2001)	: 200ppm (2-プロパノール)
ACGIH(STEL)(2001)	: 眼及び上気道刺激(中枢神経系障害)400ppm (2-プロパノール)



作成日：2022 年 12 月 21 日

更新日：2026 年 2 月 19 日

設備対策 : 適切な換気のある場所で取扱う。手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具 :換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 : 保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム。

眼及び顔面の保護具 :側面シールド付安全メガネ又は化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的狀態 : 固体(アルコール含侵繊維)

色:白色

臭い : 刺激臭

融点・凝固点 : -114.14°C (エタノール)

沸点又は初留点 : 79°C (エタノール)

可燃性(ガス、液体及び固体) : 引火性

爆発限界/可燃限界 : 爆発下限 3.3vol % (エタノール)

爆発上限 19vol % (エタノール)

引火点 : 13°C (エタノール)

自然発火点 : 363°C (エタノール)

分解温度 : 現在のところデータなし。

pH : 現在のところデータなし。

動粘性率 : 現在のところデータなし。

溶解度

水に対する溶解度 : アルコール成分は混和する。

溶媒に対する溶解度 : アルコール成分は殆どの有機溶剤と混和する。

$$n\text{-オクタール/水分分配係数} : \log \text{Pow}(\text{エタノール}) - 0.31$$

蒸気圧 : 7.9kPa(25℃) (エタノール)

密度及び/又は相対密度 : 0.75-0.84(ポリエステル)、0.789(エタノール)

相対ガス密度(空気) : 1.59(エタノール)

粒子特性 : 現在のところデータなし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : 現在のところデータなし。

化学的安定性 : 通常の保管条件/取扱条件では安定。

危険有害反応可能性 : 酸化剤と激しく反応し、火災や爆発のおそれがある。

避けるべき条件 : 高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

混触危險物質：強酸化性物質

危険有害な分解生成物 : 現在のところデータなし。

11. 有害性情報

急性毒性	製品
------	----

経口 : 現在のところ情報なし。

吸入 : 現在のところ情報なし。



作成日：2022 年 12 月 21 日

更新日：2026 年 2 月 19 日

経皮	: 現在のところ情報なし。
皮膚腐食性/刺激性	: 現在のところ情報なし。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 区分 1 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 現在のところ情報なし。
生殖細胞変異原性	: 現在のところ情報なし。
発がん性	: 現在のところ情報なし。
生殖毒性	: 区分 2 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 現在のところ情報なし。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 現在のところ情報なし。
誤えん有害性	: 現在のところ情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性	製品
水生環境有害性 短期(急性)	: 現在のところ情報なし。
水生環境有害性 長期(慢性)	: 現在のところ情報なし。
残留性・分解性	: 現在のところ情報なし。
生体蓄積性	: 現在のところ情報なし。
土壤中の移動性	: 現在のところ情報なし。
オゾン層への有害性	: 現在のところ情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 国、都道府県、市町村の規制に従い、適切に処理する。
汚染容器及び包装	: 国、都道府県、市町村の規制に従い、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号、分類	
国連番号又は ID 番号	: 1170
正式輸送名	: エタノール又はエタノール溶液
分類又は区分	: 3
容器等級	: II
指針番号	: 127
特別規定番号	: 144
国内規制がある場合の規制情報	
船舶安全法	: 引火性液体類 分類 3
航空法	: 引火性液体 分類 3

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 該当しない。
PRTR 法	: 該当しない。
消防法	: 該当しない。
化審法 優先評価化学物質	: 2-プロパノール(政令番号 102 人健康影響)

16. その他の情報



作成日：2022 年 12 月 21 日

更新日：2026 年 2 月 19 日

- ・ 記載内容は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
 - ・ また、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、記載のデータや内容について保証するものではありません。
-